

2015年度
インターンシップ等実務者研修会

研修会の成果とインターンシップ等の将来に向けて
－専門人材育成を通じた国際標準への道－

文部科学省
産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業委員会 委員
加藤敏明

本研修会の趣旨

中堅大学と中小企業の連携

(就業力GP)2010-11



地域内の大学間連携

(産業界ニーズ事業／テーマA)2012-13



連携に向けた専門人材の育成

(産業界ニーズ事業／テーマB)2014-15

3

「連携に向けた専門人材」とは
—国際標準に向けて—

キャリア教育

(狭義、座学中心)



インターンシップ等

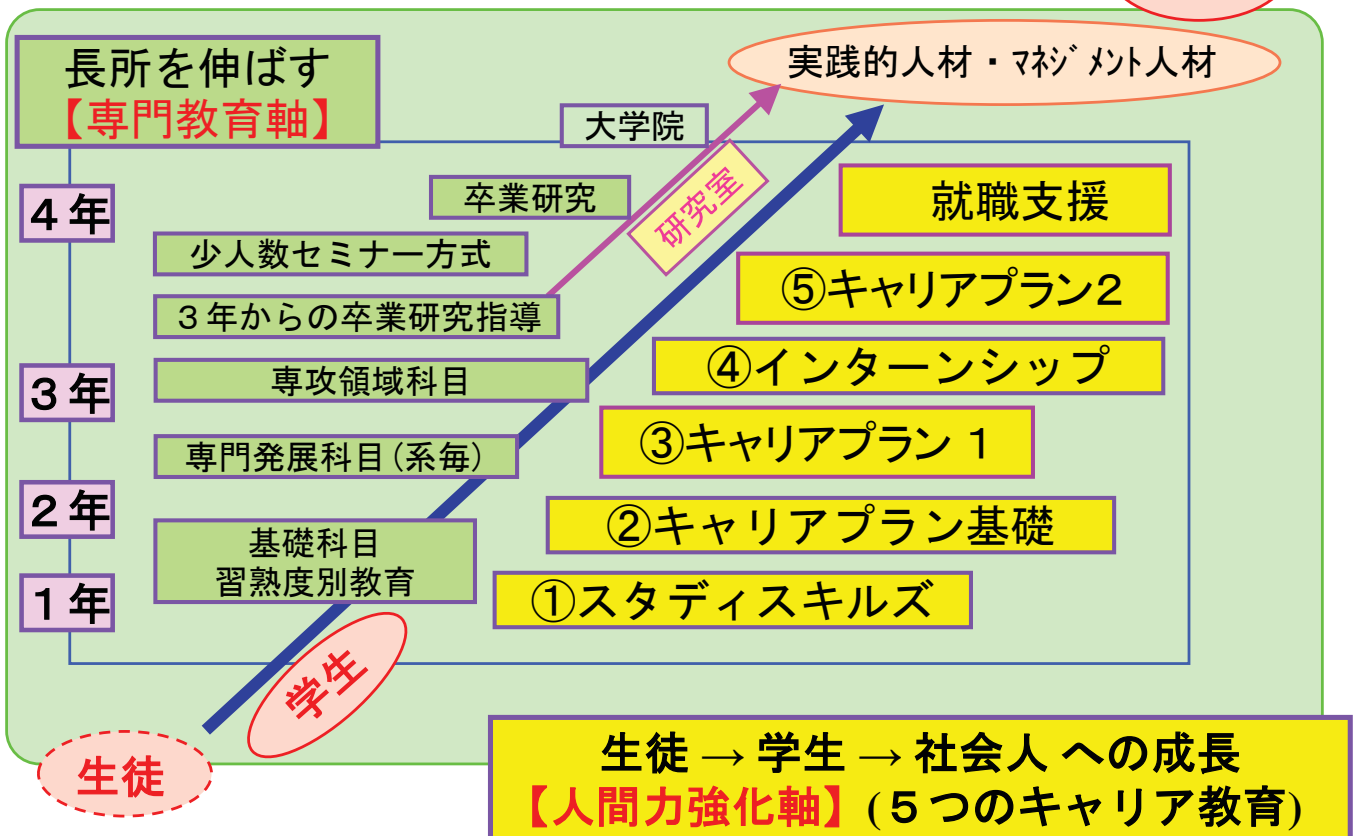
(インターンシップ、サービスラーニング、実習など)



専門教育の底上げ

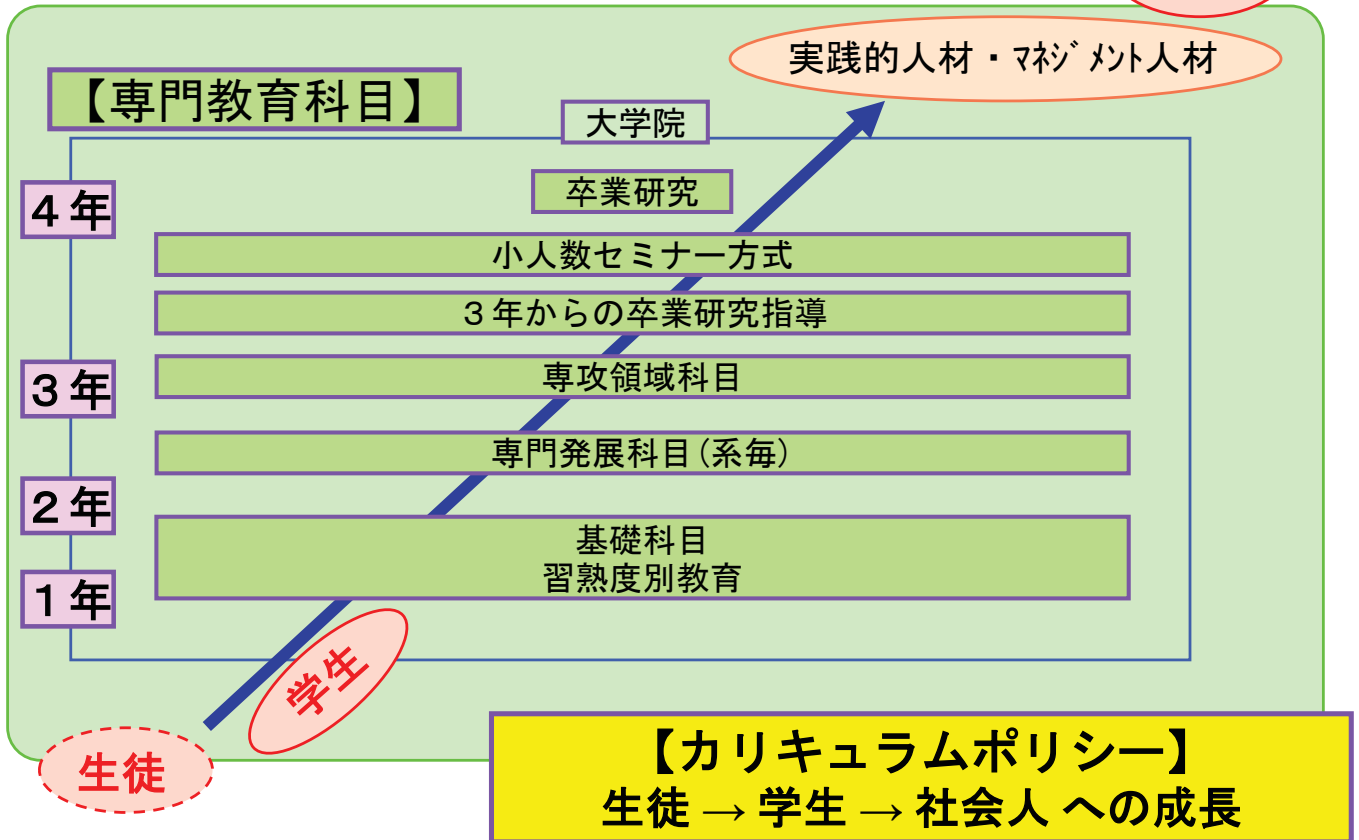
研修大学のキャリア教育

社会人



欧米大学のキャリア教育(イメージ図)

社会人



インターンシップ等の国際標準

専門教育

複合的プログラム

中・長期間

有償

採用直結

実行できる教職員(専門人材)

我が国における専門人材の現状

－2014年度研修会を振り返って－

開発A型

教員系／魅力的なインターンシップ等の開発力に優れる

開発B型

教員系／学修意欲を喚起する教育力に優れる

管理型

教職員系／トップダウンでインターンシップ等を推進する

調整型

教職員系／学内、学外の調整力に優れる

遂行型

教職員系／運営上のあらゆる業務に精通する

●どのようにして育成されたか

基本はOJT

大学間連携を活用する

外部の専門人材を採りこむ

実践的な教育の評価システムを導入する

若手教員の研究領域に組み込む

トップダウンで適材を配置する

職員系列でロールモデルを創り出す

11

●地区研修会から見出された特長とは

<関西地区>

大学連携では先進地。好環境を生かし、各種の専門人材を育成、配置。各大学、大学群の特性に合致した専門人材の育成ノウハウを習得しつつある。

<九州地区>

地元の推進協議会を核に、国際標準(複合型、学習意欲喚起型等の各種教育プログラムを開発)に向けて急速かつ着実な展開を見せている。

<関東(東日本)地区>

都会型と地方型の大学連携が本格化。そもそも多様性と豊富なノウハウ、知見が集積する地区だけに連携による大きな成果が期待される。

12